



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 鈴与シンワート株式会社

上場取引所

東

コード番号 9360

URL <http://www.shinwart.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 徳田康行

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 足洗俊之

(TEL) 03-5440-2800

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,123	△3.8	55	48.0	77	27.9	58	—
2020年3月期第3四半期	10,525	0.6	37	632.2	60	103.0	△18	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 65百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	19.73	—
2020年3月期第3四半期	△6.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	10,281	2,436	23.7	828.27
2020年3月期	10,584	2,408	22.8	818.67

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,436百万円 2020年3月期 2,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.50	12.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	2.4	390	20.8	410	11.2	300	86.9	101.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	3,000,000株	2020年3月期	3,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	57,995株	2020年3月期	57,950株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	2,942,031株	2020年3月期3Q	2,942,053株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするために、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の自粛等の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。先行きにつきましても、感染症の再拡大により緊急事態宣言が再発出されるなど依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力である情報サービス事業の業界においては、景気後退による企業のIT投資の先送りや抑制などの動きが見られるものの、今後のウィズ/アフターコロナ社会に対応していくため、企業に限らず行政からもITを活用したサービスやソリューションへの需要が高まっております。また、デジタル技術を駆使したビジネスプロセスや業務プロセスの変革といったデジタルトランスフォーメーションへの取り組みも加速しております。

当社グループ内においては、コロナ禍における環境変化を踏まえた柔軟な働き方を実現するため、顧客と社員の安全確保を第一に、Web会議システムによる社内外とのコミュニケーションの実施やテレワーク・時差出勤などを積極的に取り入れ、そこで得たノウハウなども顧客へのサービスやソリューションへ反映させるべく事業を推進しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は101億23百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業利益は55百万円（前年同四半期比48.0%増）、経常利益は77百万円（前年同四半期比27.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58百万円（前年同四半期は18百万円の損失）となりました。

なお、当社グループへの新型コロナウイルス感染症による影響としては、一部の顧客において投資の先送りや抑制などがあったものの、第2四半期連結累計期間において発生していた対面営業活動の制限による商談のクロージングの遅れは概ね解消されており、当第3四半期連結累計期間の業績に与える影響は軽微であります。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

①情報サービス事業

売上高は、ソフトウェア受託開発は堅調に推移し、前年度より収益構造改革として要員シフトも含めたビジネス拡大に注力しているパッケージソリューションサービスは増収傾向となってきたものの、一部の顧客において投資の先送りや抑制などがあり、情報サービス事業全体としては減収となりました。

以上の結果、売上高は77億60百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

セグメント利益は、収益性の高いパッケージソリューションサービスにおいて、増収傾向になってきたことに加え、リモートワーク環境下での業務効率化の推進、費用の抑制に取り組んだことにより、情報サービス事業全体としては前年同四半期比で増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は6億77百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

なお、情報サービス事業における新型コロナウイルス感染症の影響については、事業活動の停止等の直接的な影響は生じておらず、これに伴う中期計画の主要課題の変更や新たな課題の設定は行っておりません。

②物流事業

売上高は、倉庫事業については、飲食業界が低調だった影響で主に業務用食品等の扱いが減少し、荷役作業を伴うスポット貨物の獲得を進めましたが、減収となりました。港運事業については、建材埠頭の既存荷主の取扱数量が増加しましたが、貨物の出荷鈍化により減収となりました。陸運事業については、年末に向けて小麦粉輸送の貨物量が持ち直したことに加え、セメント輸送も増加したことで、増収となりました。

以上の結果、売上高は23億63百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

セグメント利益は、倉庫事業については、飲食業界が低調だった影響により、作業・配送とも振るわずに減益となりました。港運事業については、費用の抑制に取り組んだことにより、増益となりました。陸運事業については、自社車両の稼働率が増加したことに加え、受託作業等を確保できた影響で増益となりました。

以上の結果、セグメント利益は3億84百万円（前年同四半期比97.6%増）となりました。

なお、物流事業における新型コロナウイルス感染症の影響についても、事業活動の停止等の直接的な影響は生じておらず、これに伴う中期計画の主要課題の変更や新たな課題の設定は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億98百万円減少し、37億90百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少57百万円と受取手形及び売掛金の減少5億25百万円、仕掛品の増加2億25百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少し、64億89百万円となりました。これは主として、建物及び構築物の減少1億34百万円と投資有価証券の増加1億16百万円によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3億3百万円減少し、102億81百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億13百万円増加し、41億54百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少90百万円と短期借入金の増加7億52百万円、賞与引当金の減少2億41百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7億44百万円減少し、36億89百万円となりました。これは主として、長期借入金の減少7億83百万円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて28百万円増加し、24億36百万円となりました。これは主として、土地再評価差額金の増加33百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

なお、今後の業績動向に応じて連結業績予想に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,330	1,273
受取手形及び売掛金	2,370	1,844
仕掛品	191	416
その他	199	256
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	4,089	3,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,156	1,022
土地	2,489	2,472
その他（純額）	1,028	988
有形固定資産合計	4,674	4,483
無形固定資産		
投資その他の資産	305	380
投資有価証券	470	587
繰延税金資産	783	775
その他	277	281
貸倒引当金	△17	△18
投資その他の資産合計	1,513	1,625
固定資産合計	6,493	6,489
繰延資産	1	0
資産合計	10,584	10,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	752	662
短期借入金	1,560	2,312
リース債務	164	167
未払法人税等	172	24
賞与引当金	484	243
受注損失引当金	1	0
その他	606	745
流動負債合計	3,741	4,154
固定負債		
社債	90	69
長期借入金	1,773	990
リース債務	349	353
再評価に係る繰延税金負債	171	171
役員退職慰労引当金	23	23
退職給付に係る負債	1,928	1,983
その他	97	97
固定負債合計	4,434	3,689
負債合計	8,176	7,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	802	802
資本剰余金	162	162
利益剰余金	1,241	1,229
自己株式	△37	△37
株主資本合計	2,168	2,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	31
土地再評価差額金	214	248
退職給付に係る調整累計額	△0	1
その他の包括利益累計額合計	239	280
純資産合計	2,408	2,436
負債純資産合計	10,584	10,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	10,525	10,123
売上原価	8,896	8,411
売上総利益	1,629	1,711
販売費及び一般管理費	1,591	1,656
営業利益	37	55
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
持分法による投資利益	17	12
経営指導料	12	12
受取賃貸料	14	14
その他	5	13
営業外収益合計	57	59
営業外費用		
支払利息	30	30
その他	3	5
営業外費用合計	34	36
経常利益	60	77
特別利益		
固定資産売却益	0	6
投資有価証券売却益	3	25
特別利益合計	3	32
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	64	109
法人税等	82	51
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	58
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	58

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	5
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	△6	7
四半期包括利益	△25	65
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,132	2,392	10,525	—	10,525
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	3	5	△5	—
計	8,134	2,396	10,531	△5	10,525
セグメント利益	672	194	866	△829	37

(注) 1 セグメント利益の調整額△829百万円は、セグメント間取引消去△5百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△823百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,760	2,363	10,123	—	10,123
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	6	8	△8	—
計	7,761	2,369	10,131	△8	10,123
セグメント利益	677	384	1,061	△1,006	55

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,006百万円は、セグメント間取引消去△8百万円と各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△998百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。